

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		① 非常用発電機燃料の貯蔵		
タンクの設置方法		② <u>タンク室</u> ・ 直埋設 ・ 漏れ防止		
③ タンクの種類		③ <u>鋼製タンク</u> ・ 強化プラスチック製二重殻タンク 鋼製二重殻タンク ・ 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
タンクの構造・設備	形状	④ 横置円筒型		⑤ <u>常圧</u> 加圧 (⑤ kPa)
	寸法	⑥ 胴長 2,640mm 内径 1,200mm 鏡出 466mm 全長 3,106mm	容量	⑦ 3,000L
	材質、板厚	⑧ JIS規格SS-400 胴板6mm・鏡板6mm		
	外面の保護	⑨		
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	⑩		
	通気管	種別	数	内径又は作動圧
		⑪ 無弁	1	35.7 mm kPa
	安全装置	種別	数	作動圧
	⑫ なし		kPa	
可燃性蒸気回収設備	⑬ <u>有</u> (ベーパーリカバリー) ・ 無			
液量表示装置	⑭ フロート式	引火防止装置	⑮ <u>有</u> ・ 無	
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	⑯			
注入口の位置	⑰ 遠方注油口	注入口付近の接地電極	⑱ <u>有</u> ・ 無	
ポンプ設備の概要	⑲ ギヤーポンプ (0.5Mpa, モーター2.2kW) 1基 (別途隣接一般取扱所のポンプ設備)			
配管	⑳ JIS-G3452 配管用炭素鋼鋼管 さび止め塗装			
電気設備	㉑ 危政令第9条第1項第17号の規定のとおり施工する			
消火設備	㉒ 第5種消火設備 (粉末式消火器10型3.5kg) 2本			
工事請負者住所氏名	㉓ ○○県○○市○○○丁目○○番○○号 ○○工業(株) 担当 ○○ ○○ 電話○○○-○○○○-○○○○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法 (地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。)をいう。
 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

※記入方法

- (1) 各欄の該当がない部分は、斜線または「なし」等を記入し、空欄が無いようにしてください。
- (2) 製造所又は一般取扱所の20号タンクの場合は、②から⑱までについて記入してください。
- ① 事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入してください。
- ② タンクの設置方法は、該当する埋設方法のいずれかを○で囲む又は該当するものに下線を記入する、若しくは該当しないものを2重線で抹消してください。
- ③ タンクの種類は、貯蔵タンクの種類を○で囲む又は下線を記入してください。
- ④ 形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入してください。
- ⑤ 常圧・加圧は、タンクの貯蔵方法を○で囲み、加圧の場合は圧力を記入してください。
- ⑥ 寸法は、次の項目を記入してください。
 - (1) 横置円筒型は、内径、胴長、鏡出及び全長
 - (2) 角型は、縦、横、高さ
 - (3) 楕円形は、長さ、幅、高さ、最大幅等特徴的な部分の長さ
- ⑦ 容量は空間容積を除いた実容量を記入をするか、実容量、空間容量、全容量をすべてを記入するようにしてください。（危政令第5条第2項参照）
中仕切タンクは、各室の容量を括弧書きで記入してください。
(例) 5,000 : 5,000
- ⑧ 材質、板厚は、タンクそれぞれの部分の材質及び板厚を記入してください。
なお、中仕切タンクの場合は、中仕切り板○mmと記入してください。
- ⑨ 外面の保護は、危規則第23条の2に規定する地下貯蔵タンク外面の保護措置の概要を記入してください。
- ⑩ 危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要は、危政令第13条第1項第13号に規定する設備又は危規則第24条の2の5に規定する構造のうち、地下貯蔵タンクが該当するものの概要を記入してください。
- ⑪ 通気管は、タンクに設置される通気管の種別、設置数、内径を記入してください。
- ⑫ 安全装置は、圧力タンクの場合に限り、装置の種別、設置数及び作動圧を記入してください。
- ⑬ 可燃性蒸気回収設備は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合は括弧内にその設備の概要を記入してください。
- ⑭ 液量表示装置は、タンクに設置された液面計の型式等を記入してください。
- ⑮ 引火防止装置は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入してください。
- ⑯ タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要は、次により記入してください。
 - (1) 直接埋設の場合は、基礎の構造、仕上げ方法及びタンクの基礎への固定方法の概要を記入してください。
 - (2) タンク室の場合は、タンク室のふた、壁、底の構造及び内部仕上げ方法等の概要を記入してください。
- ⑰ 注入口の位置は、タンクに移動タンク貯蔵所等から受け入れる口がある場合に該当する注入口の設置場所を記入してください。
- ⑱ 注入口付近の接地電極は、有・無のいずれかを○で囲むように記入してください。
- ⑲ ポンプ設備は、タンク受け払いを行っているポンプの種類、最大吐出圧力、原動機の種類、設置数及び防爆構造の種別や記号を記入してください。
- ⑳ 配管は、製造所等で使用する配管すべてについて材質、外面保護等を記入します。
また、JIS記号を記入することもできます。
- ㉑ 電気設備は、危政令第9条第1項第17号が適用されることにより、電気設備に関する技術上の基準を定める省令（以下「電設基準」という。）に基づき設置される電気設備の種類、防爆構造の種別若しくは記号及び個数を記入してください。ただし、電気設備が多岐にわたる場合等は、総合的に捉えて、「電気工作物に係る法令のとおり設置する。」と記入することもできます。
- ㉒ 消火設備は、貯蔵所に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入してください。（例）第5種消火設備（粉末消火3.5kg）2本
- ㉓ 工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び担当者名）及び連絡先の電話番号を記入してください。